

研究課題名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する治療方法の違いによる治療成績の検討
研究の意義・目的	下肢の閉塞性動脈硬化症（arteriosclerosis obliterans；ASO）の治療には、内服治療、血管内治療、外科的治療、運動療法などがあります。外科的治療では、ASO の場所、長さ、性状などを判断して術式が選択されます。外科的術式としては、バイパス術、内膜摘除術、置換術などがあります。バイパス術や置換術には人工血管や自己静脈を使用し、内膜摘除術では、直接閉鎖や、ウシ心膜・自己静脈を使用してパッチ形成することもあります。また、血管内治療と外科的手術を同時に行うハイブリッド治療や必要最小限の内膜摘除術と運動療法を行う方法なども行っています。最近では、患者さんの状態なども考慮した治療方法を選択しています。当院で行っている外科的治療を中心とした ASO の治療成績を早期、中期、遠隔期の成績を調査することを目的とします。そうすることで、今後の治療に役立つと思われます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2016 年 4 月～2024 年 6 月の期間で、当院の心臓血管外科にて ASO に対して治療を受けた患者様が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、既往歴、嗜好歴、治療歴、身長、体重、血圧、Fontain 分類、WIFI 分類、ABI、心エコー所見、動脈エコー所見、CT（造影、単純）、血管造影、MRI、手術方法、人工血管の使用有無、生体材料の使用有無、手術方法、ステント内容、治療部開存の有無、再手術の有無、下肢・足趾切断の有無
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学、集中治療医学で行います。 【研究責任者】 集中治療医学 病院教授 藤井弘通
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 集中治療科 担当者氏名：藤井 弘通 電話番号：(06) 6645-3993 メールアドレス：fujiihiro@omu.ac.jp